

自然災害への備え

Vol.3

～東日本大震災から私たちが学ぶこと～

南海地震が発生すれば・・・

大豊町の震度は5強で、揺れる時間は約90秒
100秒と予想されます。

震度5強とは・・・

- 非常な恐怖感を感じ、行動に支障を感じる。
- 重い家具が倒れることがある。
- 多くのブロック塀が崩れ、墓石が倒れる。
- 耐震性の低い木造建築は、壁や柱が破損したり傾くものがある。

「自分たちの地域は自分たちで守る！」

そのことを基本として組織されたものを、「自主防災組織」といいます。

孤立に耐える

大豊町自主防災組織率



川口南自主防災訓練の様子

78.92%
(30組織)

自主防災組織の主な活動内容

■ 災害を知る ■

自分の住む地域で想定される災害の学習

■ 地域を知る ■

「避難場所、避難経路は？」の答えは自分たちで決め、「病人、高齢者、障害のある方などの救助に必要な住民は？」といった地域の状況を自分たちで知る

■ 訓練する ■

避難場所や避難路の整備と避難訓練、消火器などの防災機材の整備と使い方の訓練

阪神・淡路大震災では、生き埋めや建物に閉じ込められた人のうち、生存して救出された約95%の方は自力または家族や隣人などに助けられました。

県下一斉避難訓練を実施します

マグニチュード8.4規模の南海地震発生を想定し、県下一斉避難訓練を実施します。

地震発生後は身の安全を確保し、揺れがおさまったらいかに安全な場所へ避難するかが大変重要になってくることから、本年度はお一人お一人が訓練を通して、避難経路や避難場所などを確認していただき、次の南海地震に備えていただきたいと思います。

今年度大豊町では、幹線道路崩壊による避難所孤立に対応するため、災害ヘリポートを使った救援物資の輸送や、消火訓練等を西峰地区で行う予定です。

実施日時 9月4日(日)午前9時～



孤立したとき、日ごろから地域の防災力を高めていけば、公助(消防や役場など公的機関の助け)が来るまでの間、耐えることができるでしょう。
一人では難しいことも、地域が一体となって取り組めば、災害に対する何よりも大きな備えになります。